

発行者 株式会社 大幸

〒471-0079 豊田市陣中町2丁目2-8

TEL : (0565) 32-2213(代)

・地域限定版

FAX : (0565)32-1150

E-mail:kikaku@taikoh3.com

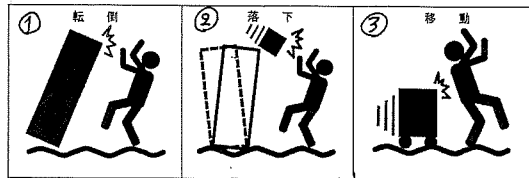
・隔月 発行

http://www.taikoh3.com

家具・家電の転倒・落下・移動防止対策

前回に引き続き、地震への備えについて掲載します。

地震が起きると・・・



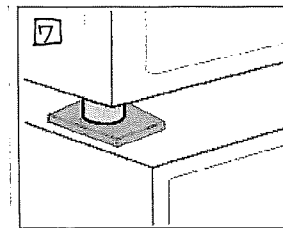
前号(かから版118号)では、主に①家具の転倒への対策を取り上げました。今回は、家庭内の転倒・落下・移動防止チェックリストと、②落下、③移動防止について取り上げます。

チェックリスト

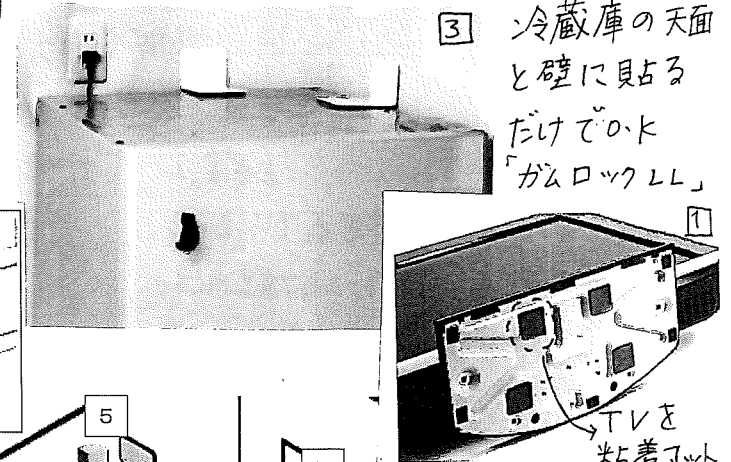
● 家庭内の転倒・落下・移動防止チェックリスト

このチェックリストを使用し、ご自宅の家具類の転倒・落下・移動防止対策を行いましょ。

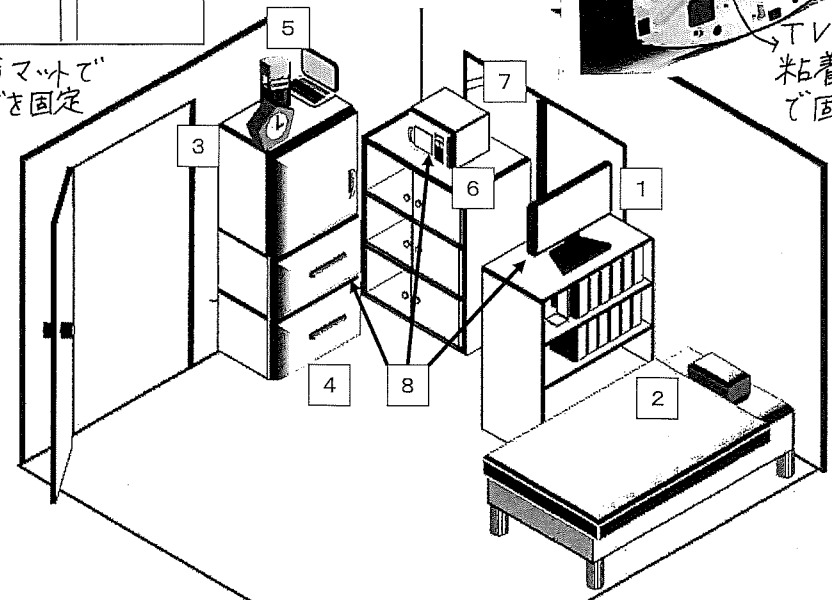
項目	チェック
1	テレビを壁またはテレビ台に固定するとともに、テレビ台も固定している。
2	テレビが転倒・落下・移動しても、人に当たったり、避難障害にならないところに置いている。
3	冷蔵庫を、ベルトなどで壁と連結している。
4	冷蔵庫が移動しても、避難障害にならない場所に設置している。
5	冷蔵庫や家具類の上に、落下しやすい物を置いていない。
6	電子レンジをレンジ台などに固定するとともに、レンジ台も固定している。
7	窓ガラスの近くに、大型の家電製品や家具を置いていない。
8	家電製品は、付属している取扱説明書に従って転倒・落下・移動防止対策を行っている。



粘着マットでレンジを固定

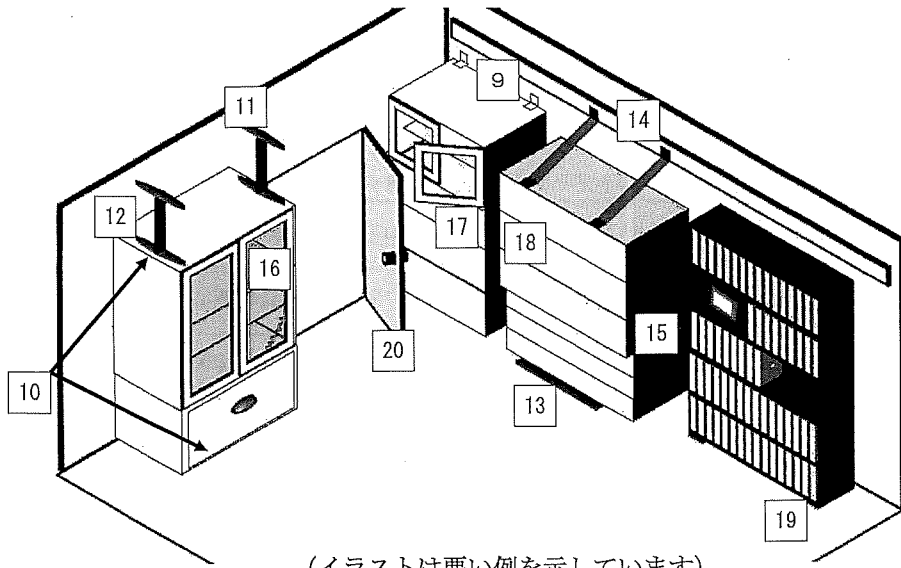


③ 冷蔵庫の天面と壁に見当るだけでOK 「ガムロックLL」



TVを粘着マットで固定

(イラストは悪い例を示しています)



(イラストは悪い例を示しています)

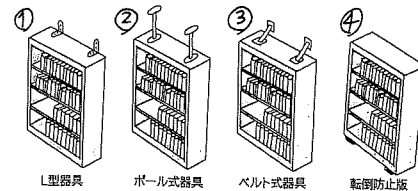
9	L型金具を使用する場合は、壁の下地材（間柱など）や柱など、強度がある部分に固定している。
10	ポール式を使用する場合は、ストッパー式やマット式と併用している。
11	ポール式を使用する際、天井に強度がない場合は、あて板で補強している。
12	ポール式は、できるだけ奥に取付けている。
13	ストッパー式は、家具の端から端まで敷いている。
14	石膏ボードに接着されているだけの付け鴨居の場合は、補強したうえで、転倒防止器具を取付けている。
15	上下に分かれている家具は、上下を連結している。
16	ガラスにはフィルムを張るなど、飛散防止をしている。
17	収納物が飛び出さないよう、扉に開放防止器具を付けている。
18	重いものを、できるだけ下に収納している。
19	固定に用いる器具は、家具類の重さや形状に応じて選んでいる。
20	家具が転倒しても、避難路を塞がない置き方をしている。

◆すべての家具に対策を行わなくてはならないの？

発生する地震により、どの家具が倒れるかわかりません。すべての家具に対策を行うことが、最も安全ですが、すべての家具に行うことが困難であれば、寝室（昼寝等も含む）などに家具を置かないことや、家具の倒れる方向を考慮した置き方とし、重量や高さのある家具を優先に、できる家具から順番に対策を行うようにしてください。

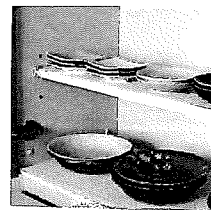
◆壁や家具に穴を開けたくない場合の対策は？

最も交角の高い家具の固定は、ネジで固定するL型金具等です。しかし、大切な家具にキズや穴を開けたくない方や、賃貸の方は、穴を開けなくて済む器具を、2つ以上組み合わせることで、交角が高くなりやすいため、組み合わせるとよいでしょう。



例えば②ポール式器具と④転倒防止板（または粘着マット式）を2つ組み合わせることで、L型金具に近い交角が実現できます。

★食器棚の中、シンク下の収納内



には「すべり止め剤」を敷くと、移動がしにくくなります。

TAIKOH

株式会社 大幸

〒471-0079 豊田市陣中町2丁目2-8
(フリーダイヤル) 0120-36-2214

Email: kikaku@taikoh3.com

http://www.taikoh3.com

（ご意見・ご感想などありましたら、お便りください。担当：松岡まで）



★包丁は、水切り板の中に入れておけば、包丁入りの収納内です。